



繰り返す体験が大きな経験へ

「体験」と「経験」を辞書で調べると、次のように説明されています。はじめに、「体験」とは自分で実際に経験することです。つまり、実際の行為をとおして感じたことを指します。次に、「経験」とは、実際に見たり、聞いたり、行ったりすること。また、それによって得られた知識や技能などです。

かつて文部科学省は体験活動について、「体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待されている。つまり、思考や実践の出発点あるいは基盤として、あるいは、思考や知識を働かせ、実践して、よりよい生活を創り出していくために体験が必要であるとされている。」と説明しています。学校ではこうした意義ある体験をどのくらい設定できるのか教職員一同考えています。児童は1年生から学校生活の中で様々な体験をとおして経験値を確かなものとして成長していきます。そして、豊かな経験を糧に学年を上がるにつれて下の学年をそして同学年を見る視野が広がり、リーダー性が養われていくと考えます。

そこで、本号は田植え（稲作体験学習）と運動会を特集します。児童が感じた「体験」と獲得した「経験」を読み取っていただければ幸いです。

田植え（稲作体験学習）

5月24日（月）

植え易いようにと駒場伸一様が直前まで代かきをしてくださいました。

当日は、駒場様をはじめ、小池啓一様、中里啓一様、相馬幸夫様、高橋栄一様にご指導、ご支援いただき、併せてPTA学年委員の皆様にもご協力いただきました。児童のためにお力添えいただきました関係者様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

児童は土の感触を確かめながら、丁寧に植えていました。5年生はバケツ稲にもチャレンジしています。ここでは、児童の感想の一例を紹介します。



きょう、はじめてたうえをしました。いねをじょうずにうえることができました。いねをよくみたら、したのほうがすこしきみどりいろになっていました。がんばってうえたから、おいしいおこめになってほしいです。

（1年生）

ぼくは、はじめて田うえをしました。どろのところをあるいてみると、足がずぼっと入ってうまってしまい、びっくりしました。田んぼの水もつめたかったけど、すぐくたのしかったです。あきになって、おいしいもちごめができるのが、たのしみです。

（2年生）



未来を担う豊北っ子は 家庭、地域と学校で



4年生がやさしく教えてくれて、1年生の時よりも上手に楽しくなえを植えられました。手伝ってくれたのうぎょうボランティアさんにも感謝したいです。どんなふうに育つのかワクワクします。きれいな稲ができてうれしいです。

（3年生）

田植えの前に、稲作ボランティアの方から、「お米には八十八回手間がかかる」というお話を聞いておどろきました。そんなお米を毎日食べられるぼくたちは幸せだと思います。足がどろにはまったく水がかかったりしたけれど、田植えはおもしろかったです。

（4年生）



お米のなえは泥の深い所まで入れて、泥を集めて植えることを今回知りました。なえを植える所は、いつも計算して位置を決めていることが分かりました。来年はなえをきれいに植えて、「元気なお米を作れるようにする」という目標にしたいです。

（5年生）

ぼくにとって小学校で最後の田植えでした。初めて体験する一年生に田植えのやり方を教えてあげの中で、一年生のは植えるのが難しかったことを思い出しました。ぼくは田植えが好きなので、またいつか田植えをしたいなと思っています。今まで田植えの体験をさせていただきありがとうございました。

（6年生）



収穫したお米は10月頃に給食で提供する予定です。

運動会：きらきら光る みんなの笑顔 とどけ応援 空高く



5月29日（土）本市の新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着かない状況でしたが、保護者のご理解とご協力を得るとともに、感染対策を講じながら実施することができました。また、当日は青空の下、児童は練習の成果を発揮し、競技や演技に精一杯取り組むことができました。今回は僅差で赤組の優勝となりましたが、白組も最後まで諦めることなく力を発揮していました。制約を伴う運営の中でも一人一人が輝く場面が見られたと思います。そして、5、6年生は係の仕事をしっかり務め、リーダーとしての活躍ぶりは見事でした。最後まで児童に温かいご声援をありがとうございました。どうぞ、児童の感想の一例をご一読ください。



【開会式】



【みや！元気っ子体操】



【応援合戦】



【全力を出せ！
無限かけっこ！】

だんすでは、ぼんぼんをきれいにふれて、たのしくおどれました。ときようそうでは、いちいになれてうれしかったです。

らいねんは、1ねんせいにわからないことがあったらやさしくおしえてあげたいです。

（1年生）

【豊北ハリケーン】



ポンポンをきれいにふるようがんばりました。校ちょう先生に、「ポンポンをきれいにふることができましたね。」と言われたときが、うれしかったです。

これからも、みんなで元気にうんどうかいをがんばりたいです。

（2年生）

「とんでくぐってゴールを目指せ！」のきょうぎでは、練習の時よりも高いハードルをとぶことができ、うれしかったです。これからがんばりたいことは、もっと速く走れるように練習することです。6年間リレーのせん手でいたいです。

（3年生）

【とんでくぐって
ゴールを目指せ！】



【紅白どっち？】



ぼくが運動会で一番がんばったことは「TOYOKITA ソーラン」です。毎日大変だったけれどたくさん練習しました。本番では、細かいところをまちがえないように気を付けて踊りました。踊った後、お母さんが「かっこよかったね。」と言ってくれてとてもうれしかったです。

（4年生）

【一・二年ノ型
団結の舞】

【昼もヒッパレ！】



【TOYOKITA
ソーラン2021】

5年生になって係の仕事が増え、ぼくは放送係でした。不安でむねがドキドキしましたが「ゆっくりしていねいに、はきはきと」を自分に言い聞かせて話しました。想像以上に上手にできました。放送が上手くいったので自分の競技もいい結果になりました。いい運動会になりました。

（5年生）

【みんな DE
わっしょい！】



ぼくが運動会で心に残っていることは、ダンスです。運動会まで頑張って練習してきました。最初は、「こんなの難しくて無理だろ。」と思う内容でしたが、それでも頑張って練習しました。そのおかげで本番もみんなと心をつなぐことができました。

（6年生）

【閉会式】



【紅白対抗リレー（女子・男子）】



【見せます 魅せます！ 豊北校】

